



区民が本当に活用できる オープンデータって！？

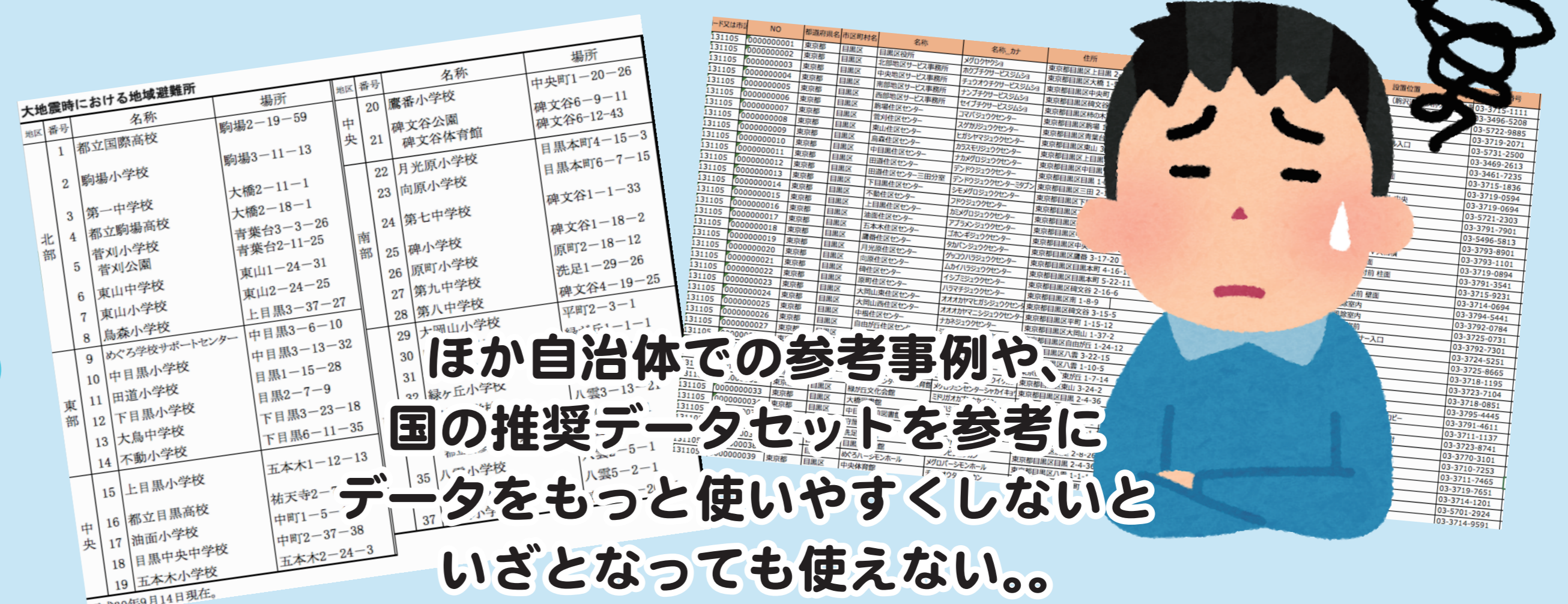


水害の課題を区民と
解決したい！
それならオープンデータで！



でも使えるデータになってる！？

データといっても今あるものでは
使えないかも。



ほか自治体での参考事例や、
国の推奨データセットを参考に
データをもっと使いやすくしないと
いざとなっても使えない。

基本編 #	データ名	対象	作成にあたり準拠すべきフォーマット等(※1)
1	AED設置箇所一覧		XLSX CSV
2	介護サービス事業所一覧		XLSX CSV
3	医療機関一覧		XLSX CSV
4	文化財一覧		XLSX CSV
5	観光施設一覧		XLSX CSV
6	イベント一覧		XLSX CSV
7	公共交通LANアクセスポイント一覧	オープンデータに取り組み始める地方公共団体	XLSX CSV
8	公共トイレ一覧		XLSX CSV
9	消防水利施設一覧		XLSX CSV
10	指定緊急避難場所一覧		XLSX CSV
11	地域・年齢別人口		XLSX CSV
12	公民館一覧		XLSX CSV
13	子育て施設一覧		XLSX CSV
14	オープンデータ一覧		XLSX CSV

国の推奨
データセットは
これ！

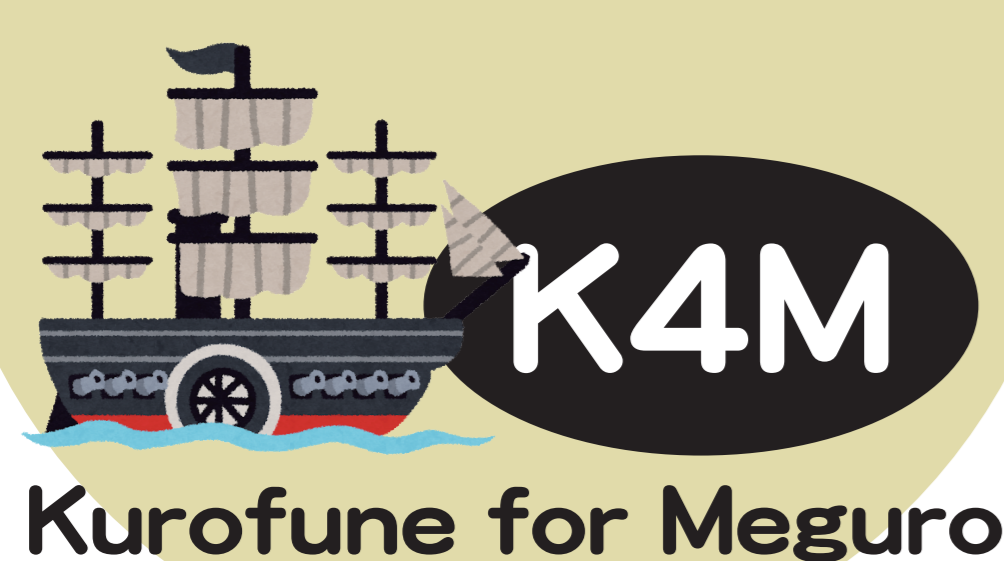
では、どうするか・・・
防災や水害の課題をオープンデータで解決する
ラウンドテーブルを開催するところからやってみましょう！

区民の声をもとにした データづくりの取り組みの場をつくろう！

オンライン、
オフライン
どちらもあり！

仮名称	MEGUROコミュニケーション広場	ODラウンドテーブル勉強会
環境	オンライン	オフライン
ひと	目黒区在住・在勤・在学者、東京工業大学（仮）、目黒区	目黒区在住・在勤・在学者、目黒区、有識者
もの	クラウドグループツール	資料・人脈
おかね	サービス設計・運用費、クラウドツール利用料 (利用方法により様々、年間約50万円～)	サービス設計・運用費、交通費 (人数・回数によるが年間約50万円)
実現までの流れ	サービス設計、サービスデザイン検討、サービス利用ルール、サービスローンチ	人選、会議調整、成果物

発表チーム



自治体だけで解決しようとせず、住民と一緒にデータづくりをする取り組みが、いろいろな自治体ですでに始まっています！

参考書籍『データ活用で地域のミライを変える！課題解決の7 Step』一般社団法人コード・フォー・ジャパン／編著
発行：株式会社ぎょうせい